

国内初 EC 業務特化型 PaaS の提供を開始

「Commerble EC PaaS」

1 受注処理あたり、@200 円の従量課金で高性能な EC クラウドが利用可能

株式会社 Commerble(本社:東京都中央区、代表取締役社長:橋本圭一、以下 Commerble)は、eコマースサービスの運営者、及び開発者が、サービスの開発と運用に必要となるハイパフォーマンスなプラットフォームと主要な機能を、クラウド環境から「パーツ」「API」として利用し開発できる、国内初の「EC 業務特化型 PaaS(Platform as a Service)」の提供を 2015 年 2 月 1 日より開始しました。

世の中に EC サービスが登場してからおよそ 15 年程度が経過し、現在では大手 EC 事業者のみならず、様々な独自ドメイン EC サイトがサービスを展開するようになってきました。最近では、Web とリアル のチャンネルを連動させた O2O、両チャンネルの統合による進化したサービス提供を目指すオムニチャンネルという概念をベースにしたサービスも現れ、更には個人間取引の CtoC も多様化してきており、小売り全体の流通規模における EC 化率は直近で 3~4% 台、今後 2020 年頃には 6% 台、将来的には 20% あたりまで伸び、年間約 60 兆円規模の市場になるという予測もあります。

他方で、世の中にクラウドコンピューティングサービスが登場してからおよそ 8 年程度が経過し、コンピューティングサービスに与えた影響は革新的で極めて大きいものになっていますが、EC 業界においては旧態依然としたシステム構築のやり方が中心となっており、EC 運営企業、及びユーザーは、クラウドコンピューティングの発達に伴う恩恵を十分に受けることができていません。

EC サービスの開発と運営には、進化の早い Web 関連技術をはじめ、ユーザーのネット利用形態の進化のスピードに合わせてシステムを常に改良、拡張、進化させなければならない要件を伴っています。従来型のシステム構築過程においては、必要な EC 業務システムを構築するために、要件定義、キャパシティプランニング、投資、開発、所有、保守、運用、改良の一連の過程を経ながら、やがて経年によるシステムの全体的な陳腐化に至り、システムリニューアルの為にそれまで積み上げた資産を

放棄して、非経済にも一から同じサイクルを実施するというのが一般的でした。業務的なノウハウが反映したソースコードは資産と呼ぶに相応しいものですが、リニューアルに伴い廃棄されるケースが大半で、このやり方により開発されたシステムは、連続的、継続的な価値の向上を遂げていません。

EC ビジネスを常に進化させるためには、必要なシステムを如何に低コストで、且つ迅速に開発し、稼働させ、継続的に改良を施していくかが鍵となります。クラウドコンピューティングの技術は、EC サイトを開発する基盤技術として相応しく、前述のやり方における非効率性、非経済性を解消する力を持ちます。この恩恵を EC 業界にもたらすことを目的として Commerble EC PaaS は誕生し、EC 業務に特化したクラウド、「EC 業務特化型 PaaS」がこの業界に変革をもたらします。

【Commerble EC PaaS の概要】

- ① eコマースサービスの開発と運用に必要となるハイパフォーマンスなプラットフォームと主要な機能を、初期費用無し、1 受注処理毎@200 円の従量課金でご利用頂けます。
当該料金には、インフラ利用料(サーバー、ネットワークほか)、基本アプリケーション利用料、テンプレート利用料、ライセンス更新・アップグレード費用、24/365 監視費用、セキュリティ監査費用等が予め含まれます。
- ② 主要機能
コンテンツ管理システム、ユーザー管理システム、商品管理システム、在庫管理システム、基幹システム連携、多店舗サイト連携、POS 連携、コールセンター連携、各種バッチ連携、O2O 連携、その他外部サービス連携他がご利用頂けます。
- ③ 主要機能をクラウドからパーツ、API としてご利用頂けます。
- ④ 認定インテグレーターを通じてご利用頂けます。

【Commerble EC PaaS の特長】

- ① イニシャルの投資コストと運用コストの大幅圧縮が可能になります。
- ② 数年毎に発生するシステム・業務資産の放棄とゼロベース刷新が必要なくなります。
- ③ システムの所有と保守から解放され、クラウドを通じて“EC の業務”として利用できます。
- ④ ハイパフォーマンスな処理能力を利用でき、大規模eコマースサービスにおいてもキャパシティプランニングから解放されます。
- ⑤ 他社のeコマースサービス、及びeコマース業務との差別化を図るための、戦略的なカスタムアプリケーションの開発に集中でき、これらの資産価値は継続して残ります。
- ⑥ スクラッチ開発、EC 専用パッケージソフトウェア利用、オープンソースソフトウェア利用、ASP 利用、SaaS 利用など、従来型の各構築・運用手法において発生していた、コスト、性能、機能、カ

スタマイズ、セキュリティ、価値の継続性におけるトレードオフが解消されます。

- ⑦ 継続的に進化し、陳腐化しないシステムと業務を構築できます。

(参考)

【PaaS について】

Platform as a Service の略。IaaS/SaaS と共に、クラウドコンピューティングモデルの一つの形態で、ソフトウェアの開発、及び稼働させるためのプラットフォームをクラウド上でサービスとして提供するものです。利用者(利用企業、開発者等)は、プラットフォーム上で開発したサービスを自ら利用したり、自らの顧客に提供することができます。

【Commerble について】

会社名	株式会社 Commerble (カブシキガイシャ コマーブル)
社名由来	eCommerce と Computing の未来に”able”を
ホームページ	http://www.commerble.com/
代表者	代表取締役社長 橋本 圭一
設立年月日	2014 年 9 月 1 日
資本金	999 万円
株主	株式会社クロスワープ シグマコンサルティング株式会社
事業内容	EC 業務特化型 PaaS の開発と提供
所在地	東京都中央区日本橋蠣殻町 1-12-7 日本橋 KOIビル 5F
TEL	03-6661-1334
目標	ユーザーがプラットフォーム上で永続的に開発可能な新しいスタイルの EC クラウドを開発・提供し、水道や電気サービスのように強固で安全、且つ安価な社会インフラを EC 業界に提供することを目指します。

【クロスワープについて】

株式会社クロスワープ(2001 年 10 月設立)は、大手企業や、有名アーティスト等、多数の大型 EC サイトで導入されている EC 事業支援クラウドサービス「MODD SaaS」を提供する e コマース事業と、著作権関係団体や製造業の知財部門向けにネット上の知財保護サービスを専門的に提供するコンテンツセキュリティ事業の 2 事業を展開しています。

【シグマコンサルティングについて】

シグマコンサルティング株式会社(2006年3月設立)は、中規模企業のICT戦略を支援するコンサルティングサービスを展開しており、顧客企業におけるCIOの視点でICT戦略を支援しています。また、Microsoft Azure、サイトコアCMSを活用した開発・運用支援に多くの実績を持ち、新規事業向けシステムやWEBサービス(EC、ソーシャルメディア等)の開発・運用を支援するクラウドインテグレーション事業を展開しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 Commerble

TEL 03-6661-1334

Email info@commerble.com

担当 橋本